



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 福留ハム株式会社

コード番号 2291 URL <http://www.fukutome.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中島 修治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理支援部長

(氏名) 明石 嘉典

TEL 082-278-6161

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	14,070	0.1	123	35.2	97	△12.4	29	△31.6
26年3月期第2四半期	14,057	2.5	91	35.6	111	25.0	43	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 278百万円 (307.2%) 26年3月期第2四半期 90百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第2四半期	1.78	—
26年3月期第2四半期	2.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	17,113	—	5,521	—	32.3	—
26年3月期	16,820	—	5,081	—	30.2	—

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 5,521百万円 26年3月期 5,080百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	28,300	0.0	330	8.2	350	8.1	140	2.6	8.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	17,000,000 株	26年3月期	17,000,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	304,662 株	26年3月期	304,052 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	16,695,743 株	26年3月期2Q	16,700,408 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的で判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1、当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日～9月30日）におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和政策を背景に雇用や所得環境の改善により景気は緩やかな回復基調となったものの、原油高に伴う原材料価格の高騰、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化や新興国の成長鈍化など、先行きに対して不透明な状況が継続しております。

当業界におきましては、主原料、包装資材及び燃料の高騰による製造コスト並びに物流コスト等の上昇や消費の低迷や市場競争激化により、依然として厳しい環境で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、「お客様第一にあふれる味覚をお届けします」をモットーに「安心・安全・美味しさ」を追求し、経営理念のさらなる浸透を図るとともに、コンプライアンスを重視した社員教育を実施いたしました。また、製造コスト等の上昇が当社の経営を強く圧迫する要因となっている状況のなか、作業効率の改善や仕入の見直しを重視し、さらなるコスト削減努力を継続して行なってまいりました。

販売に関しましては、8月から納品価格の改正等を行うとともに、当社の登録商標である「ロマンティック街道」シリーズ、“ザ・広島ブランド（味わいの一品）”に認定されているロングセラー商品の「サクラ咲く花ソーセージ」、今年2月発売の「銀の食卓」シリーズ、並びに「くまモン」をパッケージに使用した商品などを中心に販売強化を図ってまいりました。さらに、研究開発センターにおいて「広島港町手造りハム工房」商品の開発を行い、販売を開始いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、140億70百万円（前年同四半期比0.1%増）となりました。利益につきましては、営業利益は1億23百万円（前年同四半期比35.2%増）、経常利益は97百万円（前年同四半期比12.4%減）、四半期純利益は29百万円（前年同四半期比31.6%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

加工食品事業

加工食品事業につきましては、主原料、包装資材及び燃料の高騰により製造コストが上昇し、消費者の節約志向は引き続き強く推移しているなか、「ポークボロニアステーキ」や「くまモン」をパッケージに使用したウインナーが好調に推移しましたが、全体の落ち込みをカバーするまでにはいたりませんでした。

その結果、売上高は65億66百万円（前年同四半期比0.6%減）、セグメント利益（営業利益）は2億85百万円（前年同四半期比2.3%増）となりました。

食肉事業

食肉事業につきましては、適正価格の確保に努め、国産豚肉におきまして、出荷頭数の減少に加え、輸入豚肉の代替需要の増加等もあり、売上高は微増となりました。一方、国産牛肉におきましては、消費低迷から回復基調となりましたが、出荷頭数の減少に伴い、売上高は微減で推移いたしました。輸入ミートにおきましては、円安と現地価格の上昇や輸入量の減少により価格は上昇し、売上高は微増で推移いたしました。

その結果、売上高は75億4百万円（前年同四半期比0.7%増）、セグメント利益（営業利益）は87百万円（前年同四半期比242.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産等の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億93百万円増加の171億13百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2億71百万円増加の73億35百万円となりました。主な要因は、現金及び預金66百万円の減少と受取手形及び売掛金74百万円、商品及び製品1億75百万円及び原材料及び貯蔵品70百万円の増加によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ22百万円増加の97億78百万円となりました。主な要因は、投資有価証券の評価替等3億5百万円の増加及び繰延税金資産2億4百万円の減少によるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億46百万円減少の115億92百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ94百万円減少の83億6百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金1億64百万円の増加及び短期借入金2億85百万円の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ52百万円減少の32億86百万円となりました。主な要因は、長期借入金2億31百万円の増加及び退職給付に係る負債3億42百万円の減少によるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億40百万円増加の55億21百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金2億16百万円及び利益剰余金1億92百万円の増加によるものであります。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ66百万円減少の27億68百万円(前連結会計年度比2.3%減)となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2億92百万円(前第2四半期連結累計期間は3億77百万円の資金獲得)となりました。主な要因は、減価償却費2億18百万円及びたな卸資産の増加2億47百万円、仕入債務の増加1億88百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億85百万円(前第2四半期連結累計期間は98百万円の資金獲得)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出1億94百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1億73百万円(前第2四半期連結累計期間は6億43百万円の資金使用)となりました。主な要因は、短期借入金の純減額3億円、長期借入金の返済による支出2億53百万円及び長期借入れによる収入5億円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成26年5月15日に公表いたしました業績予想の変更はしておりません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間における年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が328,914千円減少し、利益剰余金が212,478千円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,005,310	2,938,990
受取手形及び売掛金	2,703,188	2,777,768
商品及び製品	774,638	950,496
仕掛品	41,804	43,689
原材料及び貯蔵品	424,713	494,859
繰延税金資産	90,525	91,052
その他	30,724	44,501
貸倒引当金	△6,615	△5,897
流動資産合計	7,064,289	7,335,461
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,114,114	2,051,902
機械装置及び運搬具(純額)	417,826	399,234
土地	3,344,656	3,344,656
リース資産(純額)	350,290	405,550
その他	36,798	41,632
有形固定資産合計	6,263,687	6,242,976
無形固定資産		
電話加入権	21,201	21,165
ソフトウェア仮勘定	103,150	-
その他	18,544	114,786
無形固定資産合計	142,895	135,951
投資その他の資産		
投資有価証券	2,075,236	2,380,717
出資金	85,507	42,219
敷金及び保証金	125,540	118,906
保険積立金	34,081	34,081
繰延税金資産	990,540	785,850
その他	232,857	254,708
貸倒引当金	△194,107	△216,920
投資その他の資産合計	3,349,656	3,399,561
固定資産合計	9,756,238	9,778,489
資産合計	16,820,527	17,113,951

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,324,700	2,489,460
短期借入金	5,060,700	4,775,400
未払金	482,229	488,380
未払費用	87,554	91,021
未払法人税等	75,056	85,625
賞与引当金	207,781	207,353
リース債務	117,538	123,111
その他	44,940	45,713
流動負債合計	8,400,501	8,306,064
固定負債		
長期借入金	373,200	604,600
退職給付に係る負債	2,429,336	2,086,869
役員退職慰労引当金	261,815	271,252
リース債務	238,111	287,131
その他	36,538	36,625
固定負債合計	3,339,001	3,286,479
負債合計	11,739,503	11,592,544
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,691,370	2,691,370
資本剰余金	1,503,937	1,503,937
利益剰余金	676,416	868,460
自己株式	△76,273	△76,489
株主資本合計	4,795,451	4,987,278
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	501,249	717,754
退職給付に係る調整累計額	△216,658	△183,732
その他の包括利益累計額合計	284,590	534,022
少数株主持分	982	105
純資産合計	5,081,024	5,521,406
負債純資産合計	16,820,527	17,113,951

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	14,057,356	14,070,862
売上原価	11,504,802	11,486,520
売上総利益	2,552,553	2,584,341
販売費及び一般管理費	2,461,165	2,460,771
営業利益	91,388	123,569
営業外収益		
受取利息及び配当金	16,251	17,724
不動産賃貸料	31,729	27,353
その他	22,550	12,933
営業外収益合計	70,531	58,011
営業外費用		
支払利息	48,469	45,784
貸倒引当金繰入額	-	37,900
その他	2,017	260
営業外費用合計	50,487	83,945
経常利益	111,431	97,636
特別利益		
保険差益	-	167
特別利益合計	-	167
特別損失		
固定資産除却損	1,498	15
固定資産売却損	-	7,432
減損損失	2,430	-
特別損失合計	3,929	7,448
税金等調整前四半期純利益	107,502	90,355
法人税、住民税及び事業税	71,216	74,929
法人税等調整額	△7,050	△13,349
法人税等合計	64,165	61,579
少数株主損益調整前四半期純利益	43,336	28,775
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4	△876
四半期純利益	43,332	29,652

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	43,336	28,775
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47,220	216,505
退職給付に係る調整額	-	32,926
その他の包括利益合計	47,220	249,431
四半期包括利益	90,557	278,207
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	90,553	279,083
少数株主に係る四半期包括利益	4	△876

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	107,502	90,355
減価償却費	197,976	218,953
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,262	9,437
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,116	22,094
退職給付引当金の増減額(△は減少)	35,238	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	37,417
受取利息及び受取配当金	△16,251	△17,724
支払利息	48,469	45,784
保険差益	-	△167
有形固定資産売却損益(△は益)	-	7,432
有形固定資産除却損	1,498	15
減損損失	2,430	-
売上債権の増減額(△は増加)	618,232	△74,580
たな卸資産の増減額(△は増加)	△213,733	△247,889
仕入債務の増減額(△は減少)	△120,315	188,196
その他	△95,921	105,763
小計	568,271	385,088
利息及び配当金の受取額	16,380	17,747
利息の支払額	△55,001	△45,805
法人税等の支払額	△152,126	△64,626
営業活動によるキャッシュ・フロー	377,524	292,403
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	100,000	-
有形固定資産の取得による支出	△42,243	△194,717
有形固定資産の売却による収入	-	2,000
有価証券の償還による収入	50,000	-
投資有価証券の取得による支出	△5,969	△5,941
無形固定資産の取得による支出	△16,593	△400
その他	13,201	13,477
投資活動によるキャッシュ・フロー	98,394	△185,581
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△220,000	△300,000
長期借入れによる収入	-	500,000
長期借入金の返済による支出	△318,000	△253,900
配当金の支払額	△50,103	△50,087
リース債務の返済による支出	△55,202	△68,937
自己株式の取得による支出	△490	△216
財務活動によるキャッシュ・フロー	△643,797	△173,142
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△167,877	△66,319
現金及び現金同等物の期首残高	3,381,825	2,835,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,213,948	2,768,990

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	6,607,398	7,449,957	14,057,356
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	6,607,398	7,449,957	14,057,356
セグメント利益	279,040	25,565	304,605

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	304,605
全社費用(注)	△213,217
四半期連結損益計算書の営業利益	91,388

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	加工食品事業	食肉事業	計		
減損損失	—	—	—	2,430	2,430

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	6,566,684	7,504,177	14,070,862
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	6,566,684	7,504,177	14,070,862
セグメント利益	285,489	87,553	373,043

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	373,043
全社費用(注)	△249,474
四半期連結損益計算書の営業利益	123,569

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

当該変更による当第2四半期連結累計期間のセグメント利益への影響は軽微であります。